




対象者:A様について

- 女性 92歳
- 介護度:介護3
- 日常生活自立度:C2 認知症日常生活自立度:II b
- 身体状況:平成29年2月変形性腰椎症増悪→歩行困難
同年3月 B施設に入所→車椅子生活
廃用状態、各部筋力低下→仙骨部褥瘡2ヶ所
難聴
- 趣味:生け花 俳句 読書 日記を書くこと 詩吟
- 平成30年4月22日 ケアハウス慈恩入居



<B施設での生活>

- 腰痛ありほぼ寝たきり状態
- ベット上での排泄
- ADLはほぼ全介助
- 入浴はリフト浴
- 難聴
- 仙骨部褥瘡2ヶ所
- 尿量多く、オムツ代2万円かかっていた(家族の負担になっていた)

平成30年4月22日 入居時担当者会議開催

家族の思い

- ・寝たきり、褥瘡あり
- ・歩けない リクライニング車椅子希望
- ・以前のように、本人らしい生活をして欲しい
- ・オムツ代金の負担が大きい

本人の要望

- ・動けない 腰と足が痛いから横になりたい
- ・ベット上で排泄介助をして欲しい

<本人の動作確認>

- ・何かに掴まれば不安定だが立位可能

➡ **日中トイレ介助を行っていきたい**

職員から・・・

リクライニング車椅子で、褥瘡あってトイレ介助できるの？

臥床したままの方が楽

一人介助できるの？

➡

職員本位の介護


転倒しない？

↓

日中 2人対応でトイレ介助行う

話し合い① 『日中トイレに行きましょう』


本人の気持ち



・日中はトイレに行きたい。
・夜はベッド上で排泄介助をして欲しい。

・やってみたら、職員一人でも介助出来る。
・夜間の立位が日中の様に出来るかしら？
・夜間、何回トイレで介助していく？

・職員の本音



話し合い② 『夜間もトイレに行きましょう』

本人の気持ち

- ・夜トイレに行けるかしら？
- ・汚してしまわないか、が心配
- ・前は何回もベッド上で排泄介助してもらった。だから回数が多いと思う。

21:00 1:00 5:00 の計3回 トイレ介助実施


職員の情報共有～スタッフ会議～

<プラス面>	< マイナス面 >	
・車椅子見直し	・会話が少なく、自分の思いを伝えない	・多量尿
・介護拒否なし	・笑顔が少ない	・失禁に対する不安大
・眠剤使用せず良く休まっている	・可動域が限られている	・褥瘡あり
・継続希望	・水分量少なく便秘	・TVの音も聞こえない

尿量多く、トイレ介助しても汚染がある
回数を見直しの必要性がある

車椅子の見直し リクライニング車椅子→車椅子へ変更

リビングでは椅子に座る
本人に合わせた足のせ台を作成
椅子に座る際に使用する



腰から足の痛み軽減

話し合い③ 『夜間トイレに行く回数を増やしましょう』

本人の気持ち

- ・そんなに行っていいのかしら。
- ・職員さんが大変になる。
- ・日中の水分を少なくしようかしら。
- ・腰が痛いけどトイレに行きたい。

21:00 0:00 3:00 6:00 の計4回 トイレ介助実施

職員の情報共有～スタッフ会議～

< プラス面 >		< マイナス面 >
・施設に対する安心感	・行事参加に意欲的	・多量尿
・笑顔が多くなる	・会話が增える	・失禁に対する不安大
・可動域が広がる	・日中水分量が増える	・褥瘡あり
・眠剤使用せず良く休まっている	・継続希望	
・難聴だが、職員・入居者とコミュニケーションが取れている		

本人の活動意欲が出ている
職員とのコミュニケーションも取れてきている
尿量多く、トイレ介助しても汚染があり、回数を見直しの必要性あり

話し合い④

本人より

- ・実は夜間目が覚める時間がある。
- ・21:00 23:30 2:00 4:00 6:00に目が覚めるので、その時間にトイレへ行きたい。6:30にもトイレに行きたい。
- ・こんなに行くようになったら、介助してもらおうが申し訳ない。

家族より

- ・最近明るくなった。表情もいい。以前と違う
- ・話もよくするし、楽しそう。
- ・本人が、この職員さんの入居者に対する声掛けがすごいと感心している。

本人の希望通りにトイレ介助を実施→腰から足の痛みの訴えあり

ポータブルトイレ介助に変更

でも・・・

トイレに行きたい！！

トイレ介助に戻す



<結果>

- ・本人から夜間6回のトイレ介助の希望がある
- ・立位安定、トイレでの排泄ができる
- ・離床時間が多くなる
- ・他入居者、職員と話すことが多くなる
- ・職員との信頼関係の構築
- ・家族からの信頼や安心感が増えた

<施設での取り組み>

- 褥瘡の改善をよりすすめる
- 便秘対策でりんごヨーグルトを10:00 15:00に提供
- ふれ愛レク
- 昼食作り
- おやつ作り
- 音楽レク
- 全体レク
- 外出支援
- 季節を味わう行事
- 配本サービス

おやつ作り:5月17日



どうもろこし会:6月26日



配本サービス:7月6日



○難聴の人とのコミュニケーションの取り方

入居時

- ・TVを観る時は、イヤホンをつけ音量最大にしても聞こえなかった
- ・TVを見る事をあきらめてしまっていた

職員

- ・ゆっくり大きな低い声で話をする
- ・本人の望む生活の為、何度も話し合いを行う

本人:自分の事を気遣ってくれる職員の対応に安心した
職員の言葉に耳を傾けるようになった

本音が言えるようになった

活動の成果と評価

<本人>

- 意欲向上
- 活動量の増加
- コミュニケーション(信頼関係)をとることが出来る
- 職員に感謝の気持ちがある
- 排泄介助→トイレ介助に変更する事ができた
- リクライニング車椅子→車椅子に変更できた
- りんごヨーグルトで便秘が少し解消できた
- リビングで椅子に座り、専用足乗せ台に足を乗せる→痛みの軽減

活動の成果と評価

<職員>

- 本人の自立に共感できた
- 本人の思いによりそう大切さがわかった
- 個別支援対応の大切さ、気づきの大切さが理解できた
- 感動・感激・達成感が生まれ、仕事のやる気向上に繋がった
- コミュニケーションが取り易くなった事で、ユニット全体の雰囲気が良くなった

入居者本位の介護に間違いはない

今後の課題

- 腰痛・足の痛み軽減
- 褥瘡予防
- 便秘改善
- リフト浴から、一般浴への変更
- 本人の望む趣味活動

ご清聴ありがとうございました

社会福祉法人 岳陽会
ケアハウス慈恩